

第5回 地創研フォーラム

地域の安全・安心を守る取組みと情報通信

～ビッグデータ、オープンデータ、IoTの活用から～

日時

平成29年9月9日(土)

13:30～17:15

場所

奈良県文化会館 集会室A B

奈良県奈良市登大路町6-2

(近鉄奈良駅1番出口より東へ徒歩5～6分)

コーディネータ

奈良女子大学生生活環境学部

教授 瀬渡 章子 氏

講演1

『子ども達をどう守るか』～子どもで繋がるまちづくり～
前富雄地区自治連合会会長

安達 孝雄 氏

講演2

『地域の安全・安心の取組み』
～情報通信技術の活用事例と可能性について～

奈良先端科学技術大学院大学

総合情報基盤センター

准教授 新井 イスマイル 氏

開催趣旨

今、地域には様々な課題が山積しています。こうした中、子供の見守りをはじめ、介護を必要とする人たちや障害者への支援など、地域の安全・安心の仕組みづくりが身近な問題として取り上げられ、多くの自治体や民間団体がこの課題へ積極的に取り組んでいます。しかしながら、子供の拉致殺害事件が後を絶たず、その取り組みはまだまだ充分とはいえません。

一方、近年ビッグデータ、オープンデータ、IoTなどの活用が、ITの世界だけではなく地域住民が普通に生活するなかでも注目を集めはじめています。こうした状況は、技術の進歩により、ツイッターなどのSNSやスマートフォンの位置情報などのリアルタイム性のある大量のデータを、比較的容易に活用できるようになったためです。

しかしながら、ビッグデータやオープンデータという言葉に踊らされて、その活用の可能性と限界などの本質的な議論が不十分です。なぜビッグデータやオープンデータが必要なのか？何を解決したいのか？といった課題認識が曖昧なままでは、新しい価値を生み出すことはできません。

そこで、今回のフォーラムでは、地域の安全・安心という地域課題に対して、ビッグデータ、オープンデータ、IoTなどを、民間、行政が一体となった地域ぐるみでどの様に活用していけるのか、事例などを通じて議論を深めるために開催します。

参加申込方法

【申込方法】 E-mail 又は FAX でお申込みください

【定員】 100名

【参加費】 500円(資料代含む)

主催

NPO法人 地域創造政策研究センター

後援

奈良県(予定)、奈良市(予定)

問合せ先

NPO法人 地域創造政策研究センター 事務局

TEL : 090-3843-8788(岡本)

E-mail : c.souzou793@gmail.com

会場ご案内



※近鉄奈良駅1番出口より東へ徒歩5～6分

プログラム

13:30～13:35	～開会・挨拶～
13:35～14:05	～趣旨説明と地域課題の認識～ 瀬渡 章子 氏 【奈良女子大学 生活環境学部 教授】
14:05～14:40	～講演 1～ 『子ども達をどう守るか』 ～子どもで繋がるまちづくり～ 安達 孝雄 氏 【前富雄地区自治連合会会長】
14:40～15:15	～講演 2～ 『地域の安全・安心の取り組み』 ～情報通信技術の活用事例と可能性について～ 新井 イスマイル 氏 【奈良先端科学技術大学院大学 総合情報基盤センター 准教授】
15:15～15:25	<休憩>
15:25～17:15	～パネルディスカッション～ ●コーディネータ 瀬渡 章子 氏 ●パネリスト 安達 孝雄 氏 新井 イスマイル 氏 北谷 雅人 氏 【奈良市教育委員会 学校教育部長】 岡本 祥文 氏 【奈良市富雄地区防犯ボランティア】 下田 真路 氏 【(株)otta アライアンス統括部長】

コーディネータ・講演者・パネリストの紹介

瀬渡 章子	専門分野は住環境計画学。犯罪にあいてく住宅・住宅地、子どもが安全に暮らせる住環境、集まって楽しく暮らせる住まいなど、住環境を主に安全・安心の面から追究する。とくに防犯研究では、防犯環境設計というハードな側面だけでなく地域防犯活動などのソフトな側面に注目し、持続可能な活動のあり方について考えている。自治体の審議会委員や防犯研修会の講師を務める。
安達 孝雄	1933年、京都府出身。都市銀行、総合開発会社勤務。退職後地域活動に関わり、2004年、地元小1女児拉致殺害事件から集団登下校見守り活動を主導。以降「子ども安全とまちづくり問題」に取り組む。地区自治連合会長、奈良市都市経営戦略会議委員、県安全安心まちづくりアドバイザーを歴任。現在、地元小学校・学校運営委員会理事、ボーイスカウト奈良20団育成会長。
新井 イスマイル	屋内ナビゲーション技術、IoT・ビッグデータを中心技術とするユビキタスコンピューティング分野の研究に取り組む傍ら、オープンデータ伝道師（内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室任命）として、地域のオープンデータ公開・利活用をサポートする社会活動に勤しむ。
北谷 雅人	指導主事、学校教育課長、教育委員会理事、教育総務部長などを経て現職。平成16年11月17日に発生した富雄北小学校女児誘拐殺害事件の対応に従事する。事件は「安心で安全な夢のあるまちづくり」に対する挑戦であった。このことは、かけがえのない尊い命を奪ったことへの強い怒りと、学校や地域に託された責任の重さを痛感させられることとなった。
岡本 祥文	1943年、東京都出身、後に奈良市富雄に移住。大阪の久米電気株式会社退職後、富雄地区社会福祉協議会のメンバーとして活動。2004年より小学校の登下校見守り活動を続ける。その間、民生・児童委員としても活動。また、コミスクの放課後教室活動で子供達とお神輿創りをして富雄地区の祭りに参加。里山再生の活動では、蛍の小屋を作成。
下田 真路	大手外資系ソフトウェア会社にて新規事業の立ち上げを経験したのち、大手IT商社に転職し、IoT新規事業の立ち上げ及び部門長を経験。IT業界にて大手企業とのアライアンス構築や新規事業構築を複数経験し、2016年に(株)ottaに入社。自らも1児の父として、見守り事業を推進。

参加申し込みのご案内 申し込み先：地域創造政策研究センター事務局 宛

<E-mail>

c.souzou793@gmail.com

※件名に、「地創研フォーラム参加」、本文に「氏名、所属団体、電話番号」を記述して送信ください。

<FAX>

0742-71-0158

※切り取らずにそのままFAX送信してください。

氏 名		所属団体など	
連絡先	電話：	FAX：	

※取得した個人情報は、本フォーラムの出欠確認以外には利用いたしません。